

ベトナム『文化交流プログラム』レポート



Hondaのベトナム現地法人であるホンダベトナムカンパニー・リミテッドが主催する「Honda エコ マイレッジ チャレンジ ベトナム大会」は今年で開催10回目を迎えました。昨年に続き日本のトップチームを招待し、「Honda エコ マイレッジ チャレンジ 文化交流プログラム」を実施。異国の地で5人の高校生が体験したことをお届けします。

▶名称
Honda エコ マイレッジ チャレンジ 2019 第10回 ベトナム大会
▶開催日
2019年5月25日(土)練習走行
26日(日)決勝走行
▶主催
ホンダベトナムカンパニー・リミテッド
▶開催地
ハノイ国際コンベンションセンター (Hanoi National Convention Center)

文化交流プログラム参加チーム

2016年よりスタートした、グループII優勝チームが招待される本プログラム。今年は2018年優勝チームである「千葉県立下総高等学校自動車部」にご参加いただきました。

1日目

3年生4名、2年生1名の5名でベトナムへ出発。ハノイに到着後、一行はベトナムホンダの工場へ向かいました。自動車製造工場と二輪車製造工場の両方を見学。工場では働いている人の多さにビックリしました。多くの作業が人間によって行なわれていて、日本の工場の様子とは大きく違っていました。



落ち着いてチームとしてカバーしあいながら準備!

2日目

午前中はフリータイムのため、一行はハノイ市街を散策。ここから文化交流の意味もあるベトナム遺産の本領発揮です。ベトナムの通貨は「ドン」、200ドンで1円しかないので、0がたくさんついで。10万ドンでも500円です。日本語はもちろん英語もほとんど通じない環境の中で、身振り手振りお礼振りで買い物します。この経験のおかげでしょうか、そのあとの昼食や夕食の際に、日本語は書いてないメニューを見ながら「自分で注文してみます」と、積極的にお店の方とコミュニケーションを図る様子が見られました。午後は明日から始まる大会へ向けて準備です。会場となるベトナム国際会議場特設コースに到着すると、事前に送っていただいた本校のマシンと数週間ぶりにご対面です!マシンを海外に送るためには様々な制約があり、税関検査も通らなければなりません。その際にはちょっとしたトラブルや、いつもの?忘れものなどもありましたが、すべて想定内のこととして慌てず騒がず、みんな落ち着いてチームとしてカバーしあいながら、無事に競技へ向けての準備を終えることができました。



3日目 練習走行

本校は練習走行でも明日の決勝走行でも1番スタートとなり、日本での大会とは違ったプレッシャーを感じます。日本からは油脂類は持ち込めないで、昨日の準備段階では燃料となるガソリンは用意されておらず、エンジンをかけていません。数週間前にベトナムへマシンを送り出してから初めてのエンジン始動となります。部員が見守る中、無事始動しました。スタートまでの残り時間は十分あり、余裕で作業を終えられようと考えていたら・・・やっぱりそんなにうまくいかないもので、なんと**タイヤのパンクを発見!**まったく余裕がなくなってしまいました。そんな中、さすが?ドライバーをやる心臓の持ち主の篠田君、動揺している様子は全くありません。普段の部活ではタイヤ班を担当し、先輩たちが驚く技術習得の速さを見せているだけあって、手際よくタイヤを外してチューブを新品に交換していきます。他にも小さなトラブルがありましたが無事スタート。ドライバーの篠田君は初めて走行するコースでしたが、昨年・一昨年の先輩たちが残してくれた走行データを分析して、万全の走行シミュレーションはできています。本人はちょっとミスがあったと言いましたが、サポートしていた他の部員たちは「完璧」と称賛していました。日本も暑いですが、ベトナムは**完全に日本の真夏状態**です。初めて経験する猛烈な暑さの中でのドライビングは堪えた様で、わずかな走行時間にもかかわらず、かなり体力を消耗していました。



万全の走行シミュレーションができたぞ!

4日目 決勝

ベトナムホンダの社長さんがスタートフラッグを振ってくださる栄誉の中でのスタートには、きちんと作業を間に合わせることができました!すっかりコースと暑さにも慣れたドライバーの篠田君、それをサポートする部員たちもすっかり落ち着きを取り戻し、**ほぼ満点といえる決勝走行**となりました。記録も2080km/ℓと、このコースとしては十分に納得できるものとなりましたが、本校の場合レギュレーションの関係で賞典外となり、最終的に1番良い記録となったのですが順位はつきません。ベトナム大会では競技よりも、競技後の方が大変という重要なポイントもありません。ヒットにマシンが帰ると、あっという間に**マシンが見えなくなるくらいの人だかり**となってしまう、質問攻めの時間となります。部員たちは困った様子も見せず、お互い片言の英語を駆使しながら活き活きとした表情で説明しています。そんな中、秋山君は「英検持ってます」と言うだけあって、自分から積極的にコミュニケーションを図り、自分が担当しているコンピューター班の作業内容について説明していました。みんなあっという間に現地チームの人たちと仲良くなり、あちこちで記念撮影をせがまれました。また、昨年なかなかうまく伝えることができなかった部活動の中での実験の様子や結果を、今年はベトナム語に翻訳した説明文を添えたパネルにして展示しました。そして、現地ですっかり人気者になってしまった部員たちは、なんと**スタートフラッグを振る大役**まで体験させて頂きました!



ベトナムチームと記念撮影!

フォトレポート



ハノイを散策したよ

バイクディーラー見学

現地の文化も体験!

impression ~全国大会を終えて~

「佐々木 哲」特別顧問、「但野 茂」特別顧問の2名に「Honda エコ マイレッジ チャレンジ」を終えた今だから感じたことを伺いました。



佐々木 哲
公益社団法人 全国工業高等学校長協会 理事長
東京都立六郷工業高等学校 校長

私は、グループII(高校生クラス)が特に印象に残ったので、これにエールを送ります。本大会では、千葉県立下総高等学校自動車部のワンツーフィニッシュ&5連覇に加えてデザイン賞の受賞、誠にありがとうございます!車両の設計・製作から走行そしてフィニッシュまでの全てにおいてゆとりを感じるチームでした。私は、安全の基本である「心のゆとり」がこのチームの原動力ではないかと感じます。日々努力の積み重ねによって身に付いた技術・技能は、自信を醸成しミスを出さない。「自らに勝つため」に、研究・開発する努力を惜しまない一人一人の構成メンバーが、チームとして高みを指す姿に、私は感動しました。本田宗一郎氏のマン島TTレース出場によって、技研の若者は世界にチャレンジし、飛躍的に技術力を向上させました。レースは技術力を向上させる!前を走る者のいない下総高校は自己記録との戦いです!来年は6連覇を阻むチームが数多く出てくることを期待します。

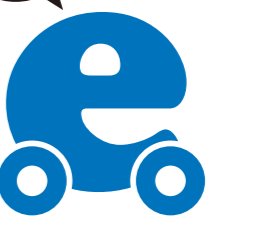


但野 茂
一般社団法人 全国高等専門学校連合会 会長
函館工業高等専門学校 校長

参加したエンジンカーは、それぞれ皆さんの熱意と努力が結集されたものでした。所定の条件をクリアし、コースを堂々と走行している姿は、実に感動的なものでした。ガソリン1ℓの走行距離を競うことは、エンジンカーのあらゆる技術的課題を含んだテーマです。本競技によって、それぞれの参加チームは、困難な課題を解決する十分な知識と技能を身につけ、その上で斬新なアイデアとデザインを施し、緻密な作業とチームワークによってエンジンカーを製作しましたが、よく分かりました。皆さんのおかげで素晴らしい大会となり、十分楽しませていただきました。

2019

EMC NEWS



HONDA The Power of Dreams



君はガソリン1リットルで日本一周できるかな?

本田宗一郎杯 Honda エコ マイレッジ チャレンジ 2019 第39回 全国大会

【開催日】2019年9月28日(土)練習走行/9月29日(日)決勝 【燃料密度】0.745(2019年9月29日午前7時00分時点)
【会場】ツインリンクもてぎ「スーパースピードウェイ」 【天候】くもり/気温23.0℃(2019年9月29日午前7時00分時点)

“本田宗一郎杯 Honda エコ マイレッジ チャレンジ 2019 第39回 全国大会”には、今年も全国各地の中学校や高等学校、大学、短大、高専、専門学校、社会人の合計332チームがエントリーして、創造力と技術を競いました。海外からは、タイ、中国、韓国の3カ国から9チームが参加。大会は、一般クラスで出場した静岡県県の「富士エコラン・チーム白米」が、全クラスで最高燃費となる2466.730km/ℓで優勝するとともに、全クラス総合の最高記録を樹立したチームに与えられる“最優秀賞 本田宗一郎杯”を受賞しました。

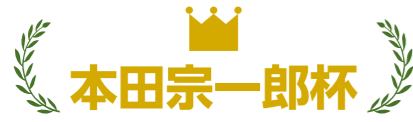
Check! 『Honda エコ マイレッジ チャレンジ』って、どんな大会??

- テーマはシンプル 1リットルのガソリンでどれくらい走れるのか?
- 歴史ある大会! 今年で第39回目
- 海外でも開催! タイ・中国・ベトナムでも実施される国際大会!

現在の最高距離 3644.869km 目指せ! ガソリン1ℓで日本1周!

Honda エコ マイレッジ チャレンジは、限りあるガソリンの有用性を考え「1リットルのガソリンでどれくらい走れるのか?」をテーマとし、自由な発想であらゆる可能性にチャレンジする燃費競技大会です。規定周回数(距離)を決められた時間の中で走行し、燃料消費量から燃費を算出。燃費性能の高さを競います。全国各地の中学校や高等学校、大学、短大、高専、専門学校のチームが毎年多数参加しています。

グループⅣ (一般クラス) 優勝



富士エコラン・チーム白糸 (静岡県)

記録 2466.730km/ℓ

コメント

今回はエンジン不調により思ったような記録が出ず、悔しい思いをしました。来年は開催40回目となる記念の年です。確実に自己記録の更新ができるように改善して臨みます。



グループⅡ (高校生クラス) 優勝&デザイン賞

千葉県立下総高等学校自動車部A (千葉県)

選考理由 空気の流れがスムーズに見える美しい車体であり、カラーリングが鮮やかである。

記録 2216.028km/ℓ

大会直前、台風の影響で停電が10日も続き、部活動にも支障がありましたが、なんとか無事に大会に臨むことができました。また、デザイン賞の受賞は長年にわたる風洞実験の結果を評価され、報われたと思いました。



グループⅠ (中学生クラス) 優勝

芝学園技術工作部2号車 (東京都)

記録 811.856km/ℓ

今回自己ベスト更新して優勝することが出来て嬉しいです。協力してくれた方々、応援してくれた方々ありがとうございました。



グループⅢ (大学・短大・高専・専門学校生クラス) 優勝

長野高専 Reginetta (長野県)

記録 1764.496km/ℓ

昨年は正式記録が残せず、悔しい思いをしました。今年度の大会では記録の向上に加え、部内初となる全国大会での優勝を果たすことができました。今後さらなる記録の向上に向けて努力していきたいと思ひます。



ニューチャレンジクラス 優勝

NAYHOITHAMIN (タイ)

記録 2048.710km/ℓ

この本田宗一郎杯出場にあたり、私たちは3年前から車両の製作に取り組んできました。今回、日本大会へ初参加にしてクラス優勝する事が出来たのは、関わってくれた先生、生徒そしてHondaの皆さんのおかげです。来年もまた挑戦したいと思います。



2人乗りクラス 優勝

富士エコラン・チーム令和 (静岡県)

記録 844.340km/ℓ

1台目はホンダさんのカーチス、2台目はドイツのメッサー、3台目は「エコランらしい車を作ろう」で一致。自分達の力で形にする物作りの楽しさを知り、走る楽しさも味わいながら記録も伸び、何物にも替え難い経験一杯しました。ありがとうございました。



新人賞 (グループⅡ)

都立総合工科高校成城GARAGE (東京都)

記録 460.766km/ℓ

「高校生活最後にエコランに出よう」と言い出した3年生の熱い気持ちたちが車両製作のきっかけです。最初で最後の大会を心から楽しんだ結果、新人賞を頂くという偉倅に恵まれました。関係者の皆様に感謝申し上げます。



ステップアップ賞 (グループⅡ)

浜松城北工業高校 省エネ研究部A (静岡県)

記録 1296.211km/ℓ (前年比+640.624 km/ℓ)

今年は、準備不足から2日間を通してさまざまなトラブルがありました。先走だけでも幸いでしたが、ステップアップ賞までいただき、今後に向けて励みになりました。来年も更にステップアップして上位入賞を目指します。



二輪車クラス 優勝

YTC 散るんじゃねえぞ!! (神奈川県)

記録 345.386km/ℓ

今回優勝できましたが、何より嬉しいのは横浜テクノオート専門学校から参戦したもう一台も準優勝とワンツーフィニッシュ出来たことです。最大のライバルが学校の仲間ということで気持ち的にも技術的にも頑張れました。



ステップアップ賞 (グループⅠ)

篠ノ井西中学校Curiosity (長野県)

記録 393.500km/ℓ (前年比+158.142km/ℓ)

チーム設立以来、初の鈴鹿大会でのリタイアを経験した今シーズンですが、この結果を励みに改良を続け、チーム最高燃費記録でステップアップ賞をいただけることが嬉しいです。来年は更なる記録の更新を目指して頑張ります!



ステップアップ賞 (グループⅢ)

鹿児島高専NOMOチーム (鹿児島県)

記録 775.258km/ℓ (前年比+485.616km/ℓ)

チーム全員でエンジンやマシンの調整を徹底的に行った結果、昨年の記録を大幅に更新して今回ステップアップ賞を頂くことができました。これを励みに更なる記録更新を目指して頑張りたいと思っています。



第39回 全国大会の賞典について

Table with columns: 賞名, 対象, 基準. Lists awards like Best of Class, Design Award, etc.

出場チーム リザルト一覧

Table with columns: 順位, No., チーム名, 燃費 (km/ℓ). Lists participating teams and their fuel efficiency.

Table with columns: 順位, No., チーム名, 燃費 (km/ℓ). Continuation of the results table.

周=周回不足/オ=周回オーバー/無=周回なし/未=未出走/タ=タイムオーバー/G=GT計測なし